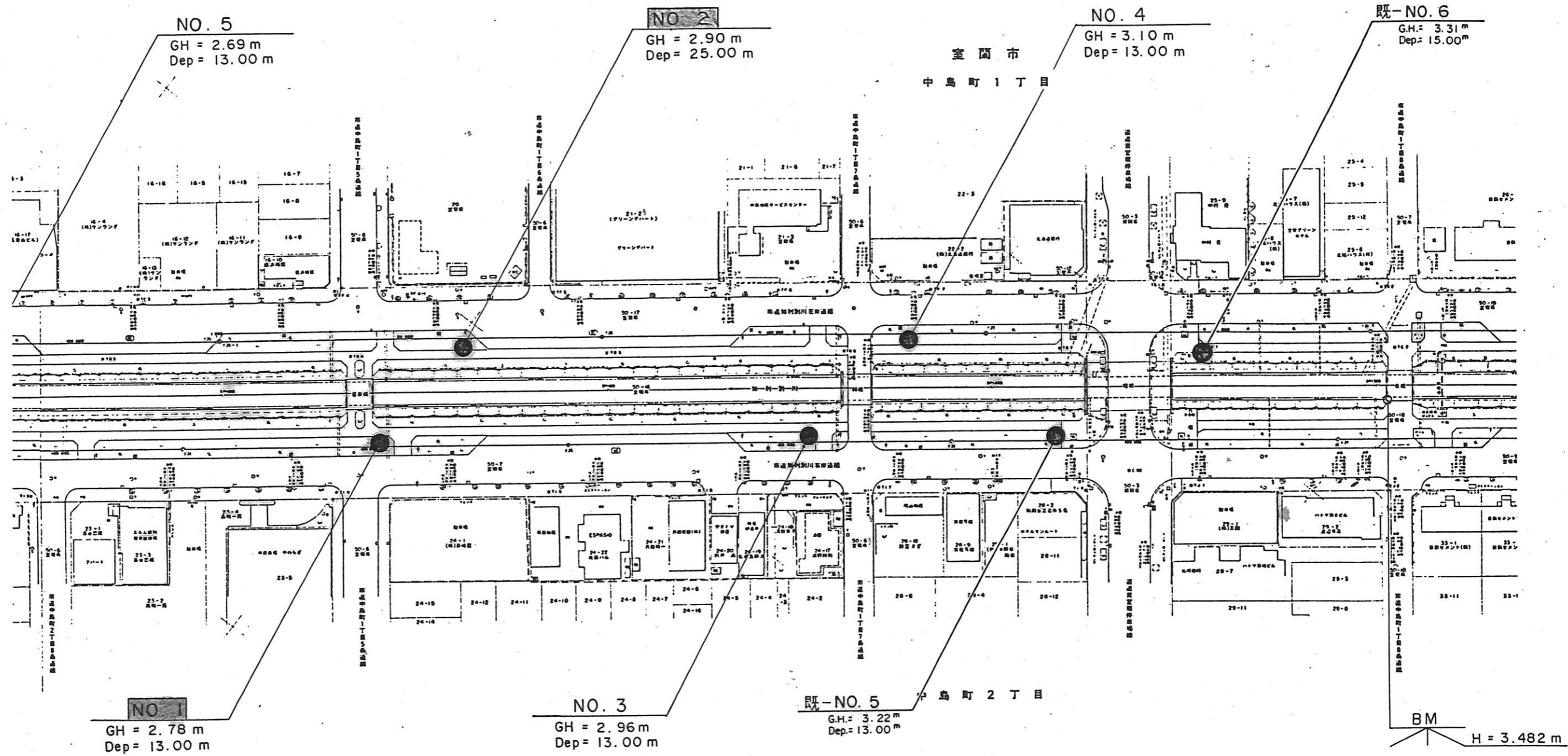


ボーリング地点平面図



ボーリング柱状図

JACIC 様式Ge201

調査名 知利別川改修工事地質調査

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.1		調査位置	SP1041 R-13		北緯							
発注機関	北海道室蘭土木現業所			調査期間	平成 6年11月21日 ~ 平成 6年11月21日		東経						
調査業者名	株式会社ロック建設技術研究所 011-842-2234		主任技師	小山 良吉		現場代理人	平山 豊	コア鑑定者	平山 豊	ボーリング責任者	河津健一		
孔口標高	GH 2.78m	角 度	180° 上下 0°	90°	方向	北 270° 西 0° 東 90° 南 180°	地盤勾配	鉛直 90°	水平 0°	使用機種	試錐機 東邦D1-B型	ハンマー 落下用具	トンビ
総掘進長	13.00m		度							エンジン	ヤンマー-NF90		ポンプ

標高 尺 (m)	層厚 厚 (m)	深度 度 (m)	柱状 図	土質 区 分	色 調	相対 密度	相対 稠度	記 事	標準貫入試験				原位置試験		試料採取		室内試験 掘進 月 日	
									深 度 (m)	10cm毎の 打撃回数 0 10 20 10 20 30	打撃回数 / 貫入 量 (cm)	N 値	深 度 (m)	試験名 および結果	深 度 (m)	試料 番号		
1	1.18	1.60	1.60	埋土 (FI)	黒			砕 φ=10~50mm 亜円礫。 φmax=100mm。 人工片混じる。シルト、腐 植土混じる。	0.65	4	8	11	23					
2	0.58	0.60	2.20	腐植土 (PT)	茶褐			非常に 軟い 分解の進んだ泥炭状。 有機物混じる。	1.65	1	1	2	1.7					
	0.16	0.40	2.60	腐植土 (PT)	茶褐			木片。	2.00	20	15	35						
3	-0.72	0.90	3.50	砂 (S)	暗茶			細粒。上部、有機物点在。 下部、φ=5mm 礫点在。	2.65	1	1	1	3	2.6				
									3.00	15	10	35						
4	-2.07	1.35	4.85	軽石混り火山灰 (VA-P)	暗灰			細粒、中粒、不均一。 φ=5~15mm 軽石。 φ=2~10mm 火山礫点 在。	3.65	8	8	13	29					
									3.95				29					
5	-2.72	0.65	5.50	火山灰質砂 (SV)	茶灰			細粒。 5.30m 付近に軽石多く 混じる。	4.65	3	2	3	8					
									4.95				8					
6								細粒で火山灰質。 φ=2~10mm 火山礫又 は軽石など15%混じる。	5.65	3	2	1	6					
									5.95				6					
7								5.80m 付近にシルト質 火山灰挟む。	6.65	5	5	5	15					
									6.95				15					
8	-5.12	2.40	7.90	礫混り砂 (S-6)	灰				7.65	3	7	7	17					
									7.95				17					
9								細粒、中粒不均一。 φ=10mm 前後の円軽石 15%位混じる。 φmax=30mm 程度。 2~10mm 火山角礫点在	8.65	9	10	13	32					
									8.95				32					
10									9.65	13	16	20	49					
									9.95				49					
11	-8.22	3.10	11.00	軽石混り火山灰 (VA-P)	茶灰				10.65	14	16	18	48					
									10.95				48					
12	-9.22	1.00	12.00	礫混り火山灰 (VA-G)	茶灰			細粒、中粒不均一。 φ=10~30mm、15 %位。φmax=50mm	11.65	16	17	18	51					
									11.95				51					
13	-10.22	1.00	13.00	砂礫 (G1)	茶灰			φ=30mm 前後の亜円、 亜角。40%位。 φmax=75mm。 マトリックスは火山灰。	12.65	14	15	15	44					
									12.95				44					

株式会社ロック建設技術研究所

ボーリング柱状図

JACIC 様式Ge201

調査名 知利別川改修工事地質調査

ボーリング機									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.3		調査位置	S P 1 1 5 2 . 5 R - 1 2 . 5		北緯											
発注機関	北海道室蘭土木現業所			調査期間	平成 6年11月23日 ~ 平成 6年11月24日		東経										
調査業者名	株式会社ロック建設技術研究所 011-642-2234		主任技師	小山 良吉		現場代理人	平山 豊	コア鑑定者	平山 豊								
ボーリング責任者	河津健一																
孔口標高	GH 2.96m		角			方向			地盤勾配	鉛直 0°		使用機種	東邦D1-B型		ハンマー	落下用具 トンビ	
総掘進長	13.00m		度							エンジン	ヤンマーNF90		ポンプ				

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	層深 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取		室内試験 (掘進月日)
											深 (m)	10cm毎の打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	貫入量 (cm)		深 (m)	試験名および結果	
1	1.56	1.40	1.40		埋土 (FI)	黒			標. φ = 30mm前後. φmax = 15mm. 腐植土、シルト混じる。	0.65	10	25	10	45				
2	0.71	0.85	2.25		腐植土 (PT)	茶褐		非常に軟い	分層の進んだ泥炭状。有機物点在。	1.65	1	1	2	1.7				
3	-0.54	1.25	3.50		砂 (S)	暗灰		非常に緩い	細粒。若干、火山灰質。有機物点在。	2.65	1	1	3	2.6				
4					軽石混り火山灰 (VA-P)	暗灰		中位	細粒、中粒不均一。φ = 10mm前後の軽石15%位。2~5mm火山礫点在。φmax = 30mm程度。3.50~3.70m間、シルト質で微細粒。	3.00	3	3	4	10				
5										3.65	3	3	4	10				
6										3.95				10				
7										4.65	3	3	4	10				
8										4.95				10				
9										5.65	6	7	10	23				
10										5.95				23				
11										6.65	11	13	14	38				
12										6.95				38				
13										7.65	9	11	14	34				
										7.95				34				
										8.65	9	12	14	35				
										8.95				35				
										9.65	11	12	18	41				
										9.95				41				
										10.65	15	17	18	50				
										10.93				50				
										11.65	15	16	21	52				
										11.95				52				
										12.65	14	17	20	51				
										12.95				51				

株式会社ロック建設技術研究所

ボーリング柱状図

JACIC 様式Ge201

調査名 知利別川改修工事地質調査

ボーリング№

事業・工事名

シート№

ボーリング名	No.4		調査位置	SP1179 L-12.5			北緯			
発注機関	北海道室蘭土木現業所			調査期間	平成 6年11月24日 ~ 平成 6年11月24日			東経		
調査業者名	株式会社ロック建設技術研究所 011-842-2234		主任技師	小山 良吉		現場代理人	平山 豊	コア鑑定者	平山 豊	
孔口標高	GH 3.10m		角	180° 上下 0°		方向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°		地盤勾配	鉛直 0° 90°
総掘進長	13.00m		使用機種	試錐機 東邦D1-B型 エンジン ヤンマーNF90			ハンマー 落下用具	トンビ ポンプ		

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	層度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記述	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験		試料採取		室内試験 (掘進月日)	
											深 (m)	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値	深 (m)	試験名および結果	深 (m)	試料番号			
1	1.70	1.40	1.40	X	埋土 (FI)	黒			礫。30mm前後亜円礫。 φmax=150mm。 腐植土、シルト混じる。	12.70	0.65	9	19	19	47	47					
2	0.60	1.10	2.50	X	腐植土 (PT)	茶褐	非常に軟い		分解の進んだ泥炭状。 上部はシルト質。	12.70	1.65	1	1	2	1.7						
3				X			非常に緩い		細粒。有機物点在。 φ=5~10mm軽石点在。 3.70m付近に腐植土挟む。 5.00mより、火山灰質で呈す。 又、礫混り砂状。木片、所々に混じる。	12.70	2.65	1	1	1	3	3					
4				X						12.70	2.95	1	2	2	5	5					
5				X						12.70	3.65	1	2	2	5	5					
6	-3.30	3.90	6.40	X	砂 (S)	暗灰	緩い			12.70	4.65	1	2	2	5	5					
7				X					細粒。中粒不均一。 φ=10mm前後の軽石。 φmax=30mm。 2~5mm火山礫点在。	12.70	4.95	3	2	2	7	7					
8				X						12.70	5.95	13	17	22	52	52					
9				X						12.70	6.65	12	15	15	42	42					
10				X						12.70	7.95	11	13	19	43	43					
11				X						12.70	8.65	11	13	16	40	40					
12				X						12.70	9.95	11	13	16	40	40					
13	-9.90	6.60	13.00	X	軽石混り火山灰 (VA-P)	茶灰	非常に密な			12.70	10.65	14	16	22	52	52					
				X						12.70	11.65	14	16	24	54	54					
				X						12.70	12.65	15	17	18	50	50					
				X						12.70	12.93				53.6	53.6					

株式会社ロック建設技術研究所